

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月24日

事業所名 りんくる我如古

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
境・ 体制 整	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	0	0	3対1での対応。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	0	5	1	事業所が2Fのため、車いすの方 には不向き。	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6	0	0	日々、振り返りを行い、より良い支 援ができるように心がけている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	1	0		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6	0	0	月に一度、社内研修を行っている。 外部研修はZoomなどオンライン を使用し参加している。		
適切 な支 援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4	2	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行って いる	6	0	0	強化チームを作り、より良い支 援が行えるよう活動プログラムの立 案を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	5	1	0	曜日によって活動プログラムを固 定して支援を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	0	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	6	0	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	0	0	毎朝、前日の振り返りや今日の支 援についてミーティングを行って いる。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	0	1	支援終了後ではなく、翌日に前日 の振り返りを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等 サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6	0	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5	1	0			
関 係機 関 や 保 護 者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	0	0	児発管が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	5	1	0	主に行事や下校時刻の連絡等は 保護者様と連絡を取り合ってい る。 トラブルの無いように情報共有を 行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	3	1	事例がない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	1	2	対象児童がいない。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	1	1	事例がない。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	0	コロナの影響もあり、現在は交流する機会がない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	1	時々児童センターへ行く機会はあるが、コロナ禍のため最近は行けていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	1	あれば参加したい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	連絡ノートやLINEを通して保護者様へ日頃の様子や出来事を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2	ペアトレは行っていないが、対応の行い方などの助言は行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	保護者様にしっかり伝わるように丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	LINE等を活用し、困った事があった際にはいつでもやり取りできる環境がある。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	2	コロナの影響で中止や延期が続いている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	会報等の発行はないがブログにて活動報告を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4	年に1度発表会があるが、プライバシー保護のため、家族や関係者のみ招待をしている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	0	マニュアルは策定しているが、職員のみ周知し、保護者様への周知はできていない。	保護者様への周知方法を検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	半年に1回、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	虐待防止の研修は枠が少なくまだ行えていない。本やネットから情報を得ていきたい。	研修機会を設けるように進めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	1	現在、身体拘束を行う対象児童はいない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0			